



友愛の森(二中だより)

学校教育目標 二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造
令和6年6月28日発行



「人間万事塞翁が馬」

～ 6月全校朝礼より ～

校長 望月 俊伸

私ですが、7月7日から富士宮市教育長に就任することが決まり、6月末で退職し二中を去ることになりました。年度途中でこのような形となり、皆様には多大なるご心配やご迷惑をお掛けすることになり大変心苦しく、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

7月1日からは新しく上井出小学校から「齋藤 治（さいとう おさむ）」校長先生がいらっしゃいます。いつもこどものことを第一に考え、学校を幸せな場所にしようと頑張っている先生です。安心して二中をお任せすることができます。生徒の皆さん、信頼して齋藤校長先生についていってください。保護者、地域の皆様、これまでと変わらぬご理解ご協力を、どうぞよろしく願いいたします。

英語に“Everything happens for a reason.”というフレーズがあります。「全ての出来事には意味がある」という意味です。ノーベル賞作家のアイザック・シンガーという小説家は、“Life is God’s novel. Let him write it.”「人生は神様の書く小説なのです。ストーリーは神様にお任せすればよいのです。」とも言っています。

いろんなことがあった時、私がいつも心に留めて自分に言い聞かせている言葉があります。それは『人間万事塞翁が馬』という中国の故事成語です。あらまはこうです。

中国の北方に占いの得意な老人が住んでいた。ある日、その老人の飼っていた馬が、逃げていなくなってしまった。人々は、哀れに思い、老人に慰めの言葉をかけた。しかし、老人は、「これは幸いになるだろう」と言った。しばらくして、逃げた馬が、立派な足の速いすぐれた馬を連れて帰ってきた。人々はその出来事に対して、お祝いの言葉を述べた。しかし、老人は「これは災いになるだろう」と言った。しばらくして、老人の息子が馬から落ちて足の骨を折ってしまった。それを知った人々は、老人にお見舞いの言葉をかけた。すると老人は、「これは幸いになるだろう」と言った。それから一年がたって、隣国と戦争が起きた。その戦いで、若者たちのほとんどが命を落としてしまった。しかし、老人の息子は足を骨折していたため、戦争に行くことを免れ、命が助かった。

『人間万事塞翁が馬』とは、「人生における幸不幸は予測しがたい」ということ。幸せが不幸に、不幸が幸せにいつ転じるかわからないのだから、安易に喜んだり悲しんだりするべきではないというたとえです。目先の結果や今現在の幸不幸に囚われず、この世は常に変化していくことを意識していく必要があります。未来を恐れず、過去に固執せず、大事なことはどんな時も自分らしくあることだと教えています。



感謝の「校歌」を歌う全校生徒

昨年度の卒業式で、私から卒業生にこんな言葉を贈りました。今日はそれを皆さんに贈ります。

自分の人生は自分で決めることの大切さは言うまでもありませんが、自分の人生は自分だけでは決められないことも事実です。現に、私が今こうして富士宮二中の校長をしてられるのも、私自身が決めたことではありません。自分の人生は、自分と他の誰かとで一緒になって作っていくものだと感じています。人間は、一人で生きているのではありません。多くの人のおかげで生きていけるのです。

だからこそ、出会った人たちに感謝しましょう。出会えたことに感謝しましょう。そして、これから出会う人たちを大切にしましょう。周りの人を大切にすることで、きっとあなたも大切にされると思います。

二中が大事にしている『自分の幸せ、自分たちの幸せ、社会の幸せ』の「しあわせ」の語源は、「為し合わせ」と言われています。お互いにしてあげることが、「幸せ」の本質なのです。一人ではできません。これからも幸せな二中をみんなで創っていきましょう。

新しい環境に飛び込むことは誰しもが怖いことです。私もそうです。でも、自分を成長させるチャンスでもあります。進化することを皆さんに求めるだけでなく、私自身もこれを機に更に進化していかなければと思っています。皆さんの益々の活躍と成長を見守っています。私の頑張りも見てください。

これまでお世話になりました。本当にありがとうございました。

地域に学び、地域に愛される、そして地域に返せるように…。



地区生徒会（6月10日）

12地区の区長様と1地区の町内会長様が、それぞれ地区の生徒に、地区の行事や防災についてお話をしてくださいました。区長様のお話をお聞きすると、地域を創っていく「力」として、中学生に大きな期待が寄せられていることを実感します。地域から学び、地域の人々に愛され、そして、どんな形でもよいので地域に返せる…、そんな人になってほしいと思います。

「ひばり会」の皆様、ありがとうございます。（読み聞かせ）



第1回読み聞かせ（6月12日）
毎学期1度、「ひばり会」の皆様
に読み聞かせを行っていただ
いています。朝の15分間とい
う短い時間ですが、毎回
とても充実した時間となっ
ています。